

中学校美術科教育における

自己肯定感の高い生徒の育成を目指して

—モダンテクニックによる制作と作品の相互鑑賞を通して—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 創造科学系（美術）

氏名 横山 鉄郎

本実践研究では、中学校美術科教育による中学生の自己肯定感の育成を目指し、5 観点に基づいたモダンテクニックによる授業を開発・実践し、その授業の様子を分析して5 観点の達成度を考察した。その結果5 観点中、2 観点（自分の存在に気付くとともに、自分のことを受容できるようにすること、自分の個性を認めるとともに、他者の多様な価値観を認めることができるようにすること）は十分達成、2 観点（自分の役割を理解し、存在感を感じることができるようにすること、自分が周りの人に支えられた存在であることを理解し、感謝できるようにすること）は不十分であるが効果を期待できる、1 観点（自分の可能性を信じ、努力できるようにすること）は達成することができなかったという結果になった。モダンテクニックによる作品を制作し、相互鑑賞する学習は、中学生の自己肯定感を高めることが可能であることの一端を示せた。今後は発達段階や達成できなかった観点について検討し、継続的な実践研究をおこなっていきたい。